

オプトアウト(ver3)

千葉市立青葉病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、お問い合わせ下さい。

研究課題(研究番号)	頸椎椎弓形成術後急性期における漢方薬の鎮痛効果
申請区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規申請 <input type="checkbox"/> 変更申請
当院の研究責任者(所属)	茂手木 博之(脊椎脊髄外科、整形外科)
多施設共同研究の場合、主たる研究機関および研究責任者(所属)	なし
研究の目的	頸椎症性脊髄症神経根症、頸椎後縦靭帯骨化症に対する椎弓形成術施行例において、術後NSAIDs常用の代替としてアセトアミノフェン、柴苓湯および桂枝茯苓丸加よく苡仁を常用した症例におけるNSAIDs頓用薬の使用量、急性期リハビリテーション治療の進行に与える影響を調査し、頸椎椎弓形成術後急性期における漢方薬の鎮痛効果について検討することである。
対象となる調査期間	2022/01/18～2025/09/30
対象となる患者様	上記期間に当院で頸椎椎弓形成術を行った患者様。
使用する情報、試料等 ([○]の項目を利用します)	[]血液、[]唾液、[]毛髪、[]病理組織、[]排泄物(尿・便)、 [○]診療記録、[○]臨床検査データ、 [○]その他(画像データ)
情報や試料の他の研究機関への提供およびその方法	個人情報削除した上で、第38回日本疼痛漢方研究会学術集会にて発表のうえ論文投稿
研究期間	2022/01/01～2026/07/25
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所などの患者様を直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表される予定ですが、その際にも患者様を特定できる個人情報は利用しません。
備考	診療情報や試料等を研究目的に利用されることを希望されない場合でも、診療上不利益な取り扱いを受けることはありません。

申請日: 2026年3月12日

入力者: 茂手木 博之

終了日:

入力者:

試験が終了したら、上記を入力の上事務局までご連絡下さい。
HP掲載を終了します。